

電波時計 取扱説明書 (メロディ報時付置時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、**本体裏面に表示しております製品番号(型番)をお伝えください。**例 4RN○○○、8RN○○○

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2206)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。



警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、**幼児の手の届く所に置かない**。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、**次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



梱包用のポリ袋をかぶらない。窒息する恐れがあります。



電池の液漏れが起きたときは、**素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。



注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



電池の⊕⊖を正しく入れる。液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。



強い振動や衝撃を与えない。故障や破損の原因になります。



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では**使わない**。さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない。さびや故障の原因になります。



分解や改造をしない。けがや故障の原因になります。



下記のような場所では**使わない**。性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置き電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。



取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様
ご住所
 TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

電波時計について

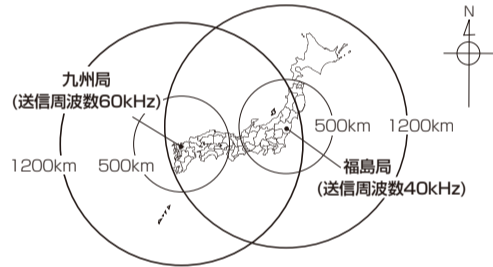
電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijiy.nict.go.jp)
 ※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
- 電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと	報時機能	毎正時にメロディを1曲奏でる
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度	報時精度	表示時刻に対して±1秒
	標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(温度が5～35℃のときのクォーツ精度)	報時ON/OFF	スライドスイッチ
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 6個	音量調節	ロータリー式ボリューム
電池寿命	約1年(標準電波の受信に成功し、報時を音量中で1日に17回行ったとき)	モニター	メロディの試聴可能
	*明暗センサーにより7時間/日秒針が停止した場合		
暗所秒針停止機能	明暗センサーと連動して秒針と報時を停止		
電池交換時期お知らせ機能	秒針が明るいところでも12時位置に停止		
防滴防塵機能	なし		

電波時計機能	電波の受信に成功すると時刻を修正	受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少1回/日、最多12回/日	受信ON/OFF	スライドスイッチ

自動受信による時刻修正回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

- ▶ 受信成功から72時間以内の場合 ……………1～3回/日 開始時刻 2:16:40、3:16:40、4:16:40
- ▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合
- ▶ 初めから受信に失敗している場合
- ▶ 手動で時刻合わせをした場合

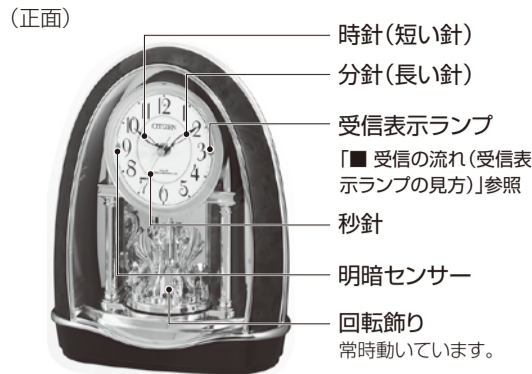
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
 ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 取扱説明書・保証書 本書

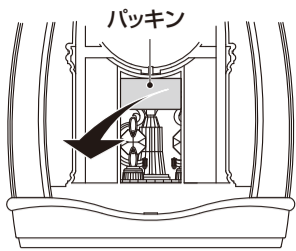
CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

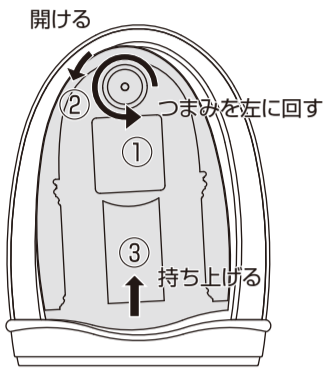


【パックインの取り外し】⑥

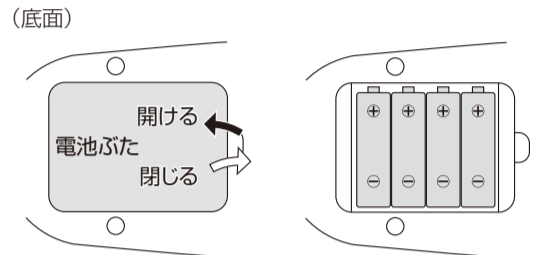
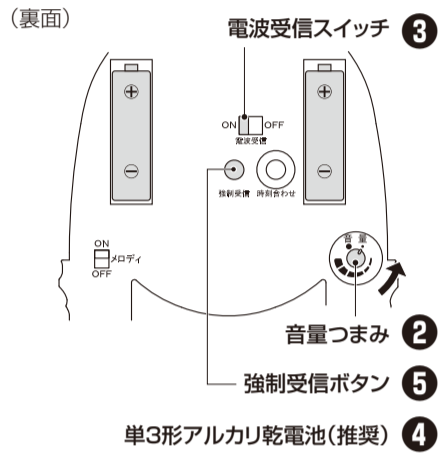
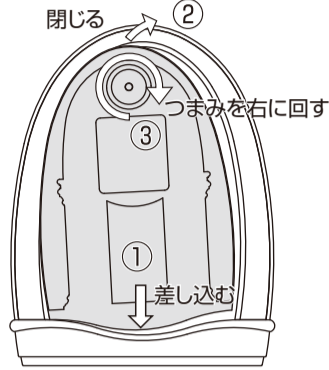


パックインは回転飾りを保護するものです。輸送する際は、パックインを差し込んでください。

【裏ぶたの取り外し】①



【裏ぶたの取り付け】⑦

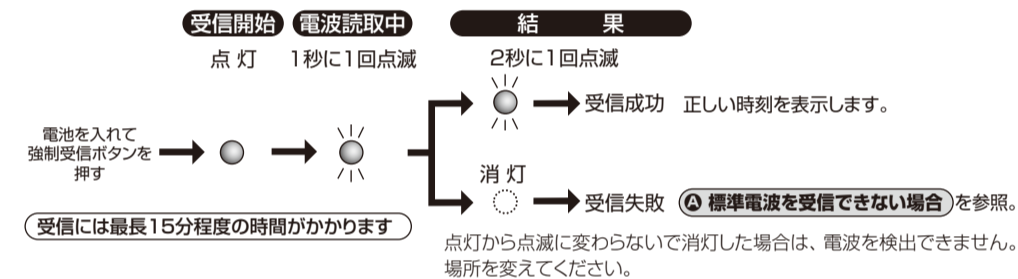


裏面と底面にある電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を6個入れてください。

○すべての電池ホルダーに指定の電池を入れてください。

注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入ると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

■ 受信の流れ(受信表示ランプの見方)



Ⓐ 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
屋外などで電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせて使用することができます

■ 手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。手動で時刻合わせをするとクォーツ精度になります。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作をしてください。

※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。☞ **電波受信スイッチ** 参照

▶時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

▶時刻合わせボタンを押しつづけると早送ります。

秒針は、ボタンを押しつづけていると12時位置で止まります。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒になります。ボタンを離したとき、秒針が12時位置にないときは、早送りで時刻位置に移動します。

Ⓑ 電波受信スイッチ.....電波受信機能のON/OFF操作

電波受信スイッチをOFFにしますと、電波の受信を行わないで、クォーツ精度で時刻を表示します。誤受信しやすい場所や意図的に時刻を変えてお使いになるときにOFFにします。

○受信に成功した状態で電波受信スイッチをOFFにすると、OFFにしてから24時間以内は、受信表示ランプが2秒に1回点滅することがあります。

○電波受信スイッチがOFFのときに、電池を入れるか、強制受信ボタンを押すと、電波受信スイッチがONのときと同様に受信表示ランプが点灯し、針が停止したままになります。その後、早送りして時刻を表示します。

電波受信スイッチOFFでの電池交換

すべての電池を交換し、強制受信ボタンを押してください。針が早送り移動後に時刻を表示したら、必要に応じて手動で時刻を合わせてください。

設置について

時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。傾いたところに置くと、回転飾りが止まったり、滑らかに回転しなくなることがあります。大理石を使用しているものは重量が有りますので、お取り扱いにはご注意ください。

外観について

木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なります。

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を6個ご用意ください。

1. 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで手動で時刻を合わせる場合は、「■ 手動での時刻合わせ」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 裏ぶたを取り外す

② 音量を最小にする

電池を入れた後にメロディが鳴り出すことがありますので、音量つまみを左に回して最小にしてください。

③ 電波受信スイッチをONにする

④ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、6個の単3形アルカリ乾電池(推奨)を入れます。

⑤ 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯し、電波の受信を開始します。受信には最長15分程度の時間がかかります。

※針は停止したままですが、故障ではありません。

※受信中は、ボタン類を操作しないでください。

⑥ パックインを取る

⑦ 裏ぶたを取り付ける

⑧ 受信結果を確認する

受信終了後、時計・分針・秒針が時刻を指します。

別項「■ 受信の流れ(受信表示ランプの見方)」参照。

受信成功: 受信表示ランプが2秒に1回点滅

⇒そのままご使用ください。

受信失敗: 受信表示ランプが消灯

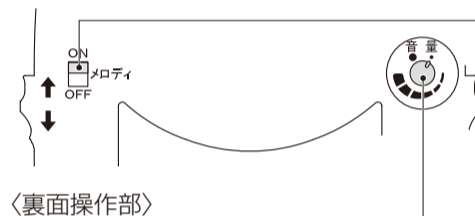
⇒ **Ⓐ 標準電波を受信できない場合** を参照。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

2. 報時機能の設定

毎正時にメロディを鳴らすことができます。報時スイッチを設定し、音量を調節してご使用ください。



報時スイッチの設定

ON: 毎正時に1曲奏でます。

報時ごとに曲が切り替わります。

OFF: 鳴りません。

※メロディの曲目は時計本体に表示してあります。

※収録曲や曲数は商品により異なります。

※暗くなると報時しません。

【明暗センサーのはたらき】をお読みください。

※時刻合わせボタンを操作して正時にしても鳴りません。メロディを試聴したいときは、モニターボタンを使用してください。

メロディの音量調節

モニターボタンを押して、メロディを奏でている間に、音量つまみを回して音量を調節します。

☞ 右に回すと大きくなります。

☞ 左に回すと小さくなります。

メロディの試聴

モニターボタンを押すと1曲奏でます。

○鳴っているときに、モニターボタンを押すと曲が切り替わります。

○電波受信中は、受信しやすいするためにモニターボタンを押さないでください。

明暗センサーのはたらき.....暗くなると秒針と報時が停止する

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針を12時位置で停止させ、受信表示ランプが消灯します。また、毎正時にメロディが鳴らなくなります。

昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きます。

電池の交換時期お知らせ機能.....秒針が止まる

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになり、報時をしなくなります。このような状態になったら速やかにすべての電池を新しいものに交換してください。そのまま放置すると、電池からの液もれや誤作動の原因になります。

※強制受信ボタンを押して受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るいところでも秒針が停止します。

※時計と分針は電池の交換時期になってからおよそ1ヵ月動きます。この期間は時計の使用状態などにより前後します。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。



電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。